

スピリチュアル物語

100話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$70

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$22/1件(Paypal)



「お金の浄化のやり方としては…色々あるんじゃないが、一番簡単なのはベルの音を聴かせる方法かな」マグワートの言葉に「ベル？」マジョリアルが「ル」の口のまま目をパチパチする。「基本的にベルの音は高いじゃろ。高い音は波動がいいんじゃない」「へえ。高い音は波動がいいねえ…」今度はウィザットが「え」の口のまま目をパチパチ。

「だけど、女性の悲鳴も高い音だけど、波動がいいとは思えないわ」マジョリアルが肩をすくめながら言った。「それは、悲鳴は roughness (ラフネス) という音の粗さが激しいからじゃよ」「ラフネス?」「波長的にベルの音には粗さはないが、悲鳴は音の高低の変動率が激しい上に、バラ付いていてはつきりとした波がなく、ザラザラした音なんじゃ。同じ高い音でも音の質が違ふということじゃな。因みに悲鳴は脳内の恐怖を感じる扁桃体を刺激する音で、だから、人は悲鳴を耳にすると、何が起きているのかよく判らなくても恐怖を感じるんじゃない」「じゃあお金に悲鳴を聴かせてはダメね、お金が怖がって逃げちゃうから」マジョリアルが悪戯っぽい顔でそう言った。「で? お金にただベルの音を聴かせ

るだけでいいのかい?」「ウィザットが話を戻す。「そうじゃ。簡単じゃろ?」「何回くらい聴かせるんだい?」「気の済むまで。まあ、大体7回位でよかろう」「それはお財布からお金を取り出して行なうんですか?」「いや、お財布ごとで大丈夫じゃ。お財布も一緒に浄化されるから尚いいぞ」



★これまでのお話(1~99話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 12月27日号につづく